



令和2年度 よこはま夢ファンド 報告書



横浜市

よこはま夢ファンド制度の概要

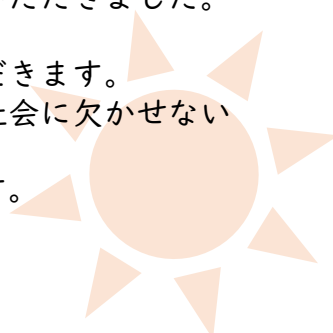
『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動をみんなで支えるための基金です。

令和2年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、令和2年度の活用状況についてご報告させていただきます。

これからも皆さまのお気持ちを無駄にすることなく、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしく願いいたします。



よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）に積み立てて、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、寄附集め・組織運営などの各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆さま、企業の皆さまなどからのご寄附

「よこはま夢ファンド（横浜市市民活動推進基金）」に積み立てます

登録団体への支援

●登録団体助成金

登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための取組に助成します。

市民活動団体への支援

●各種講座の実施

寄附集め、組織運営等に関する講座を定期的に行い、市民活動団体の活動を支援しています。

◆外部委員による審査について

各種助成金の申請については、次の審査会で審査を行います。

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・横浜市市民活動運営支援事業部会

よこはま夢ファンドの特色

特色1

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

【 団体 】

登録しているNPO法人 245団体（令和3年8月末現在）

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

【 活動分野 】

- ① 保健・福祉・子ども（保健・医療、福祉、子どもの健全育成）
- ② まちづくり・環境（まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興）
- ③ 文化・スポーツ（生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術）
- ④ 国際・人権・平和（国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画）
- ⑤ 経済・観光振興（情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興）

特色2

寄附していただくと税制上の優遇措置が受けられます。（ふるさと納税）

（個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入）

— ふるさと納税とは？ —

自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です。

（一定の上限はあります）

ふるさと納税額（寄附金額）（例：個人の方の場合）

所得税の控除額 (寄附金額-2,000円) × 所得税の税率	住民税の控除額 基本分(寄附金額-2,000円)×10%(住民税の税率) + 特例分 住民税所得割の2割が上限	自己負担額 2,000円
--	---	------------------------

・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

・所得税率は課税所得に応じて異なります。

・住民税の控除（基本分）の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。

※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

— 返礼品について —

一定額以上をご寄附いただいた市外在住の寄附者の方には、寄附金額に応じて返礼品をお送りしています。

寄附メニューに共通してお選びいただける返礼品の詳細は、横浜市ホームページ「横浜市への寄付『ふるさと納税』」をご参照ください。

（ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kyoutsuhenreihin.html> ）

※地方税法が改正されたことにより、令和元年6月1日より市内にお住まいの方には返礼品をお送りしていません。

令和2年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 収入の部 －

<令和2年度にいただいたご寄附> 件数 **721** 件 総額 **36,046,827** 円

希望する団体への寄附 691件 計 33,792,717 円

希望する活動分野への寄附 12件 計 1,622,110 円

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	9件	1,572,110円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	1件	10,000円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	0件	0円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	2件	40,000円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

希望の分野や団体を指定しない寄附 18件 計 632,000 円

※創設～令和3年3月までに、
合計**2,631**件 総額**323,924,485**円
の寄附をいただいています。

お名前と金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

久保田 龍士 様	60,000円	新井 雄一 様	50,000円
棚田 優理子 様	5,000円	朝香 純子 様	50,000円
根岸 秀行 様	20,000円	那須 ジュリアン 様	10,000円
福田 みほ 様	300,000円	井戸田 直子 様	30,000円
佐藤 治 様	120,000円	千代 継 様	160,000円
前田 治 様	40,000円	岡田 俊英 様	50,000円
西井 弘 様	45,000円	安藤 成之 様	20,000円
三角 忠 様	50,000円	上村 隆 様	21,108円
木野内 俊雄 様	10,000円	内山 勝文 様	252,000円
光田 和彦 様	50,000円	豊田 和子 様	50,000円
梅林 真道 様	20,000円	池永 秀幸 様	300,000円
田口 繁雄 様	10,000円	森本 聡 様	60,000円
廣井 敬三 様	72,000円	吉川 高弘 様	50,000円
小林 久美子 様	20,000円	西田 道子 様	15,000円
木村 興利 様	100,000円	根岸 祐子 様	10,000円
足立 久美子 様	30,000円	竹内 円 様	15,000円
原田 進 様	600,000円	櫻井 和枝 様	30,000円
小山 和夫 様	10,000円	田中 里枝 様	10,000円
吉永 道代 様	20,000円	服部 成男 様	20,000円

尾上 浩一 様	70,000円	吉川 眞之 様	100,000円
谷本 弘蔵 様	10,000円	高田 邦久 様	150,000円
金子 有一 様	100,000円	具志堅 健 様	10,000円
志賀 大輔 様	10,000円	金長 泰亮 様	10,000円
吉崎 泰光 様	20,000円	梁田 賢悦 様	16,000円
池戸 克之 様	20,000円	徳田 有紀 様	10,000円
井上 祐治 様	20,000円	坂本 郁穂 様	10,000円
横川 秀男 様	277,000円	井畑 直樹 様	3,000円
浜橋 真人 様	54,000円	石井 俊也 様	17,000円
栗原 秀行 様	100,000円	高草木 勲 様	15,000円
牛之浜 吉継 様	55,000円	稲田 瞳 様	10,000円
小森 香織 様	40,000円	出口 剛 様	5,000円
山本 経国 様	180,000円	渡辺 登 様	20,000円
よこはまシニア ボランティアポイント事業 ボランティア登録者 11名様分	22,000円	神奈川福祉事業協会 会長 伊坂 重憲 様	1,500,000円
一般社団法人 日本釣用品工業会 様	12,500円	一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前 茂 様	1,000,000円
有限会社がんこ本舗 木村 正宏 様	200,000円		

お名前の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

益子 道子 様	寺本 義武 様	正木 千恵 様	小林 収 様
高橋 可織 様	天野 裕 様	壁谷 利秀 様	山野上 啓子 様
森山 良夫 様	竹内 一器 様	河野 健三 様	加鬮山 洋子 様
太田 弘 様	榎本 守 様	北山 紫帆 様	佐藤 真理子 様
加納 健 様	井上 美樹 様	吉田 奈実栄 様	千原 由美子 様
小杉 貴一 様	志田 榮子 様	美谷島 啓二 様	佐藤 由紀子 様
中安 一雄 様	安藤 竜一 様	山西 朋子 様	小野山 章久 様
早川 宏 様	武藤 啓司 様	内山 直之 様	本橋 篤 様
高橋 むつみ 様	Larson Justin Collier 様	三好 菜穂子 様	白松 浩 様
山中 さとえ 様	森 二郎 様	瀬能 芳幸 様	都坂 和真 様
福田 憲明 様	森本 義紀 様	桃井 芳晴 様	黒坂 豊 様
堤野 元司 様	田中 典子 様	金森 めぐみ 様	林 諭 様
河合 剛 様	齋藤 司 様	長井 麻美 様	林 恵子 様
高木 駿作 様	小野寺 正明 様	神田 昌実 様	長野 英治 様
田川 正志 様	池谷 威 様	山中 正竹 様	マーティン ジャック 様
安藤 紘史 様	三輪 隆 様	加藤 富美 様	森 一俊 様
二宮 猛 様	荒井 みどり 様	山口 大輔 様	出口 武志 様
長谷川 まゆみ 様	森本 正信 様	柳本 瑞枝 様	豊田 茂芳 様

福島 成人 様	スローマン ニコラス 様	清水 大樹 様	北口 誠 様
今野 義之 様	堤 桂子 様	桑原 清 様	薄井 優 様
佐藤 利彦 様	岩田 慶隆 様	伊藤 有沙 様	寺田 千里 様
伊藤 秋津 様	笹生 和泰 様	三田 重雄 様	福元 晃 様
松山 昌弘 様	片山 優 様	千原 遠見彦 様	岩元 佐代子 様
坂田 辰男 様	有沢 嘉英 様	宮城 保人 様	小林 健吾 様
内藤 和男 様	森 耕太郎 様	門口 剛大 様	中尾 美保 様
澤田 眞治 様	安食 美和 様	森戸 春樹 様	夏井 嶺 様
校條 諭 様	石崎 舞子 様	山本 誠 様	中島 晃紀 様
豊山 沙織 様	樋渡 安彦 様	永野 健一 様	渡辺 健 様
平井 裕二 様	橋本 幸博 様	中村 毅 様	黒川 尚 様
児島 ゆう子 様	城下 歩 様	木村 功二 様	鈴木 智 様
湯浅 一郎 様	長谷川 裕 様	奥野 晴雄 様	玉野 尚子 様
山田 真由美 様	難波 和也 様	最上 重夫 様	米澤 正紀 様
茂垣 達也 様	吉田 奈美 様	市川 優子 様	柴田 まり子 様
安藤 弥生 様	小林 光之介 様	村松 聡 様	田野井 勇樹 様
山仲 由里香 様	岩崎 輝行 様	後藤 由紀子 様	鈴木 直亮 様
内布 好紀 様	井上 貴博 様	樋口 公人 様	江頭 辰夫 様
内布 明日香 様	川島 慎也 様	駒野 大樹 様	小林 立陽 様
藤本 直弘 様	宮地 茂樹 様	牛越 信雄 様	田口 真也 様
和久井 健司 様	高橋 良輔 様	伊勢川 恵梨香 様	上竹 祐樹 様
齊藤 剛毅 様	松本 力 様	横澤 比呂美 様	西山 ゆり 様
平野 岳 様	小島 俊 様	松井 敬一 様	平野 誠樹 様
倉林 敦子 様	石田 恵 様	神保 礼司 様	石堂 彩 様
池田 隆宏 様	中戸川 馨 様	多田 純子 様	山口 剛史 様
栗原 進 様	田上 明 様	森平 直子 様	高橋 明美 様
橋爪 啓子 様	伊藤 貴之 様	黒木 法章 様	吉崎 泰光 様
内藤 達夫 様	三平 洵 様	山中 研 様	三富 晴二 様
戸塚 由美子 様	武田 幸光 様	江藤 敏夫 様	村田 卓 様
櫻井 育子 様	石井 良輔 様	本多 哲也 様	小山 哲哉 様
神保 至 様	高野 隆司 様	岡村 幸博 様	市川 悦子 様
清水 恵子 様	吉岡 泰男 様	上浪 冬実 様	高橋 淳 様
西川 和樹 様	中野 寛 様	上浪 節子 様	大場 誠司 様
高橋 美穂 様	松浦 博之 様	鎌田 洋祐 様	永江 寛美 様
荒木 康之 様	加島 隼人 様	杉田 里絵 様	金子 勝久 様
荒川 静司 様	矢葺 大地 様	村井 紀元 様	白石 和子 様
白幡 ちあき 様	園田 直 様	田中 里枝 様	
株式会社 文明堂 代表取締役社長 平川 尚義 様	恵比寿機工株式会社 代表取締役 高橋 健一 様	株式会社NOBORI 代表取締役社長 依田 佳久 様	株式会社ヨコレイ 様
ジャパンニューアルファ オーラム 様	BSIグループ ジャパン株式会社 様		

多くの皆様から
たくさんのご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

令和2年度 よこはま夢ファンドの報告

－ 支出の部 －

登録団体助成金

38事業に、総額22,104,473円を助成

子育て支援、芸術、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

令和2年度 第1回 登録団体助成金

	団体名	事業名	金額
1	カウンセリングオフィスSARA	低所得者向けメンタルヘルス事業	647,800円
2	神奈川県防犯セキュリティ協会	協会設立15周年記念誌の刊行事業	235,450円
3	スーリールファム	スーリールファム フェス事業	122,000円
4	ひだまりの森	「子育て期の相談」への理解を深めるための統計分析と支援者交流事業 ～統計から考える子育て支援の今とこれから～	100,000円
5	青空保育ぺんぺんぐさ	青空保育ぺんぺんぐさの運営事業	900,000円
6	ミニシティ・プラス	ミニヨコハマシティ	548,200円
7	ミニシティ・プラス	特命こども地域アクタープロジェクト	921,901円
8	はぐくみ心理相談所	就労意欲がある低所得者への社会復帰支援プロジェクト	660,000円
9	Umiのいえ	無料対面・電話相談事業	400,000円
10	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業(親子の交流会開催、講座開催、冊子発行)	485,000円
11	肺がん患者の会ワンステップ	肺がんの薬剤の保健適応に向けた、臨床試験支援事業	100,000円
12	肺がん患者の会ワンステップ	受動喫煙の啓蒙及び広報に関する事業 ジャパンキャンサーフォーラムへの参加	248,000円
13	肺がん患者の会ワンステップ	がん医療の啓蒙及び広報に関する事業 世界肺癌学会学術集会への参加費用の補填	111,370円
14	肺がん患者の会ワンステップ	がん医療の啓蒙及び広報に関する事業 肺がんBOOK VOL.5作成	540,000円
15	肺がん患者の会ワンステップ	分かち合いの場としての患者会運営に関する事業 令和2年度おしゃべり会	903,146円
16	海の森・山の森事務局	子どもたちへの環境出前授業実施と総合学習の支援	880,000円
17	野口英世よこはま顕彰会	明治の検疫遺産、旧長浜検疫所「一号停留所」の保存・活用事業	55,000円
18	よこはま里山研究所	活動拠点を地域に開く「土間」づくり～街なかで里山とかかわる暮らしを	400,000円
19	こんにちは・国際交流の会	国際交流事業 ～「バス研修旅行」～	中止
20	アース・エコ	親子で取り組む地球温暖化対策	中止

令和2年度 第2回 登録団体助成金

	団体名	事業名	金額
1	草の根援助運動	ニュースレター(会報)「びいぶる2」発行事業	140,000円
2	Umiのいえ	出産子育て 支援事業(対面講座)	620,000円
3	横浜こどものひろば	音楽の楽しさを体験できる事業	400,000円
4	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営及びその周辺事業 (令和2年9月~12月)	5,400,000円
5	ヴィエムシイ	講演会の開催事業	80,000円
6	ピースデポ	・平和の実現を目指す調査・研究活動 ・「脱軍備・平和レポート」発行 ・朝鮮半島非核化合意の公正な履行に関する市民の監視活動	2,581,606円
7	スーリールファム	スーリールファム フェス事業	200,000円
8	スローレーベル	ヨコハマ・パトリエンナーレ2020連携事業 メディアラボ「パラ枠を超える伝え方研究所」事業	500,000円
9	DV対策センター	コロナの影響で居場所を失ったDV・虐待被害者のための緊急一時避難施設の拡充のための事業	50,000円
10	くでん学童	学童保育 通所エリア拡大・通所支援事業	700,000円
11	RCB大口夢	地域食堂(子ども・シニア食堂)	50,000円
12	横浜日独協会	横浜日独協会設立10周年記念事業	65,000円

令和2年度 第3回 登録団体助成金

	団体名	事業名	金額
1	くでん学童	くでん学童地域貢献事業	1,000,000円
2	Yokohamaこども応援団	ワークライフバランス事業 「パパ&ママと赤ちゃんのふれあい運動遊び」	10,000円
3	総ぐるみ福祉の会	介護事業所における介護用具の整備、 地震対策品の完備	100,000円
4	多言語社会リソースかながわ	病棟で使う日本語・外国語対訳基本表現指差しシート作成事業	200,000円
5	スローレーベル	ヨコハマ・パトリエンナーレ2020連携事業 ドキュメントブック~6年間の軌跡と展望~制作事業	1,500,000円
6	アジア図書館ネットワーク	アジア諸国への図書寄贈	100,000円
7	スーリールファム	スーリールファム フェス事業	100,000円
8	日中友好支援協会	パレード、イベント参画事業	50,000円

組織基盤強化助成金

5団体に、総額1,500,000円を助成

継続して活動を続けていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を向上させる取組に助成しました。

また、取組の効果を高めるために横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設けました。さらに、ワークを通じて「組織にとって大事なものは何か」などを団体同士で話し合う、情報交換会を令和2年11月22日に開催しました。

令和2年度 組織基盤強化助成金

	団体名	申請内容	交付金額
1	スーリールファム	参加しやすく続けやすいNPO活動のための基盤強化事業	300,000円
2	かながわ環境カウンセラー協議会	SDGs推進のための会員のスキルアップとリーフレット・ホームページ等の充実	300,000円
3	だんだんの樹	(団体設立20周年を迎えて)組織基盤及び情報発信の強化に向けて	300,000円
4	コドモト	発信力・提案力強化事業	300,000円
5	横浜草の実会	地域の子育て支援活動を継続・拡大するための広報活動の強化	300,000円

各種講座の開催

団体の組織運営に関する講座を、市民協働推進センターと協働で実施しました。

令和2年度の実績

講座名	講座開催数	延べ参加者数
組織基盤強化ワークショップ	2回	38名

講座を受けた団体の声

- ・周囲の団体がどのような活動をして、どのような悩みを抱えているのかを知ることができ、とても参考になりました。
- ・メンバーからのアンケートで事業のポジショニングマップを見直す機会となった。
- ・どこの活動団体でも同じ悩みを抱えていることに気づきました。

助成金を活用した事例紹介

登録団体助成金を活用した団体の声

神奈川県防犯セキュリティ協会 協会設立15周年記念誌の発行

ご寄附ありがとうございます。
今年度は助成金を活用して「協会設立15周年記念誌」を発行させていただきました。本誌は、設立以来、防犯活動を通じて県民及び横浜市民の安全・安心なまちづくりに携わってきた経過を懐古し、これからの明るい未来に向けて、編集しました。15年間の歩みを記念誌で広く広報することができ、私たちの活動が、広く県民・市民の安全で安心なまちづくりにお役に立っているという実感を得ることが出来ました。また、各顧問や協会理事、会員有志に寄稿をお願いし、防犯対策活動の経過を語っていただき、防犯意識高揚が図れたと確信しています。今後とも、ご支援をお願い申し上げます。



RCB大口夢 地域食堂(子ども・シニア食堂)

ご寄附ありがとうございます。
私たちは登録団体助成金を活用して、JR大口駅周辺の飲食店を拠点に地域食堂を開催しています。ひとり親家庭の子どもたちや一人暮らしのお年寄りを対象に、プロが料理した安全で温かい食事を提供し、気軽に立ち寄れる心のよりどころづくりを行いました。これからもこの大口の町を元気にしていくことを目指します！



ミニシティ・プラス ミニヨコハマシティ 特命子ども地域アクタープロジェクト

「ミニヨコハマシティ」は1日約500人が来る子どものイベントのため、コロナ禍で中止を余儀なくされました。そこで、団体の活動のパネル展示をしたり、運営の子どもたちの企画で、8月から毎月地域のマーケットの中で1~2店舗の出店をしながらなんとか継続してきました。また、「特命子ども地域アクタープロジェクト」も、コロナの影響で派遣先が3カ所(逗子市、大和市、鶴見区)しかありませんでしたがつながりが切れないように、持続してきました。子どもたちは、2020年4月からの学校休校などで心が落ちつかない状態が続いています。その中で小規模でもリアルな活動が行えたことで、保護者の方も活動を見に来てくれました。また、地域の方たちにもこどもの参加で元気がでた、と大変喜んでいただきました。



スーリールファム

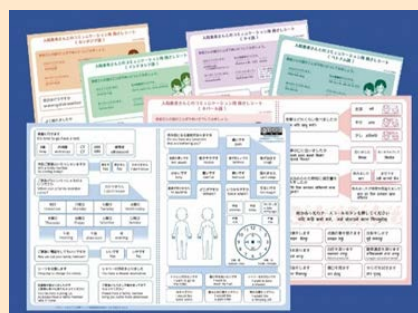
社会参加でフレイル予防、「大人の文化祭 フェス事業」

当団体はプレシニア世代が中心になって活動発表や交流を行う「大人の文化祭 フェス」を毎年2回開催しています。今年度は感染症対策を徹底して11月7日に横浜市開港記念会館全館で開催しました。「楽しむ」をキーワードに、落語会やハンドメイドマルシェやミニ講座などを実施し、約180人の方に参加いただきました。多くの方から「久々に人と会って楽しかった」「笑って元気が出た」という声をいただきました。一人ひとりが自ら「楽しむ」ことで活気あるコミュニティになっていく。そんなイメージで活動しています。



多言語社会リソースかながわ(MICかながわ) 病棟で使う日本語・外国語対訳基本表現 指差しシート作成事業

入院患者さんとのコミュニケーションのための指差しシートを6言語(英・インドネシア・カンボジア・タイ・ベトナム・ネパール)で作成し、HPから無料ダウンロードできるようにしました。便利な翻訳機器やアプリがある時代ですが、プリントアウトして手軽に使用するとSNSでも多くの反響があり、また医療機関からも感謝の声が寄せられています。



海の森・山の森事務局

子どもたちへの環境出前授業実施と総合学習の支援

令和2年度前半は新型コロナウイルスによる小学校休校などもありました。緊急事態宣言が解除になり、9月より環境出前授業の依頼が相次ぎ、市内7校10クラスにおいて、内容は主に海洋プラスチック汚染とマイクロプラスチック問題について、校外での実習も含めてトータル35回の総合学習年度内サポートを行いました。

HP: <https://www.uminomoriyamanomori.com>



DV対策センター

コロナの影響で居場所を失ったDV・虐待被害者のための 緊急一時避難施設の拡充のための事業

ご寄附、ありがとうございます。

DV・虐待被害者が加害者から避難するための緊急一時避難施設の拡充を行いました。シェルター新設により、より多くの被害者の方にご利用いただくことができました。

今後もDV・虐待・貧困の連鎖を防ぐ活動を行っていきます。

活動についてはHPを御覧ください。

<https://dvtaisaku.jp>



くでん学童 学童保育 通所エリア拡大・通所支援事業

ご寄附、ありがとうございました。
今年度は登録団体助成金を活用して、徒歩や子育てタクシーを利用した通所支援事業を行いました。
子どもたちがより安全に当学童保育所へ来る事ができ、保護者から高評価を得ました。
NPO法人 くでん学童の詳しい活動についてはHPで紹介しています。
「くでん学童」で検索して、ぜひご覧ください！



野口英世よこはま顕彰会 明治の検疫遺産、旧長浜検疫所「一号停留所」の保存・活用事業

ご寄附を頂き有難うございました。
10月17日、長浜ホールにて講演とシンポジウム「野口英世博士の足跡が残る明治の検疫所を知ろう、保存しよう！」を開催しました。
細菌学の専門家による講演「感染症の歴史」のほか、野口英世も勤務した旧長浜検疫所に残る一号停留所の保存意義を建築史、海港検疫史の専門家から語って頂きました。
保存要望の署名運動にも参加者の賛同を得ることができ、今後の運動にはずみがつきました。
HP: <http://noguchihideyo.web.fc2.com/>



アジア図書館ネットワーク アジア諸国への図書寄贈

当団体の事業目的は、国内で処分される図書およびアジア諸国で必要とされる図書は共に膨大であり、その両者の橋渡しを行うことです。
アジア諸国の主な寄贈先は、図書館と日本語学校が対象です。
令和2年度事業実績は以下の通りです。
図書収集:478冊(小淵沢図書館 140冊、個人蔵書3件338冊)
図書寄贈:352冊(中国 暨南大学110冊、蘭州大学17冊、台湾政治大学155冊、興雅国民中学70冊)。残部は日本国内の図書館



横浜日独協会 横浜日独協会設立10周年記念

記念誌『横浜とドイツの絆—横浜日独協会10年の歩み』(A4/両面4色/24P/1,300部)を協会設立日2020年10月16日に発行しました。
日本とドイツ、横浜市とフランクフルト市の市民による長年の草の根の交流によってお互いの理解を深め、次世代を担う若者の支援など、多種多様な事業を国内外の多くの方々に伝えることができました。



組織基盤強化助成金を活用した団体の声

かながわ環境カウンセラー協議会 SDGs推進のための 会員のスキルアップと リーフレット・ホームページ等の充実

会の設立後20年余り経ち、活動が従来の枠内に留まる、会員が持つ力を十分に発揮できていない、若年層の加入が少ない等の課題が生じていました。そこで、①会員のスキルアップのための研修会の開催 ②認知度向上のための営業ツールの開発 ③外部ニーズの調査を計画しました。しかし、強化事業冒頭に行われた自己評価会での議論を受けて、②③については、組織の抱える問題点の洗い出しと対策案の検討、HPの見直しに変更することにしました。中間報告会や研修会の中で、今まであまり実施してこなかった組織内横断の話し合いができ、多くの気づきが得られました。また、HPについて会員から意見を聞きながら見直しを行った結果、外部への情報発信の促進と同時に、自組織のHPに対する関心を高めることもできました。

だんだんの樹 (団体設立20周年を迎えて) 組織基盤及び情報発信の 強化に向けて

20年活動が続ける中で事業内容も広がり、支え手も増えてきましたが、中期・長期計画に沿った活動展開ができていない、情報発信が効率的に行われていないという課題がみえてきました。そこで、①中期・長期計画の策定 ②効率のよい情報発信のためのツールとしてHP及びリーフレット作成を実施することを考えました。進行はコロナ禍の影響もあり思うようにいかない部分もありましたが、担当ファシリテーターさんのアドバイスやインストラクターさんによる中期計画策定に向けての講義を受けることで、職員間で長期的視野にたつて話をする機会を得ることが出来、団体としての方向性を全体で共有することができました。今後は各事業別の5ヶ年計画策定を進めていきます。また、ホームページの更新を通してよりわかりやすく積極的に地域へ情報発信を行っていきます。

コドモト 発信力・提案力強化事業

団体内の各分野間での情報共有不足や、団体を紹介するツールがHPのみで、リーフレットなどの紙媒体がないという課題がありました。そのため、団体内の活動への理解・共有、リーフレットなどの広報ツールの作成、企業向け提案書・マニュアルの作成に主に取り組みうと考えました。結果、組織のことを考える時間を一年を通して持つことができ、各部門ごとや全体でのミーティングを定例化することができました。また、広報ツールの作成によって、内部・外部に活動を伝えやすくなりました。

スーリールファム 参加しやすく続けやすい NPO活動のための基盤強化事業

当法人は交流イベントの開催を続ける中で人材不足や広報力の課題が出てきました。そこで広報の強化として、当初の計画では対面で広報ができるリーフレットの作成を考えていましたが、コロナ禍の影響で見直し、代わりにHPの改修に力を注ぐことにしました。また、今までは新たなスタッフ獲得に注力をしていましたが、既存の会員にも説明を行い、団体の考えを伝える機会を設けました。今後は会員との意見交換や情報交換を重ね、定期的な団体内部向けの講座を開催していこうと考えています。また、リニューアルしたHPを効果的に活用し、情報発信を進めていきます。

横浜草の実会 地域の子育て支援活動を 継続・拡大するための 広報活動の強化

当法人は保育所を運営しています。本来保育所は入園児に限らず、広く地域の子育て支援の役割を担うべきと考えています。しかし、以前の施設の外観は、あくまでも“入園児のための施設”という印象があり、入園前の方が気軽に育児相談に立ち寄れる外観ではなく、開かれた地域の子育て支援の場となっていませんでした。この状況を改善するため、ホームページのリニューアルや、屋外掲示板の設置などを行い、外部に向けた広報活動に取り組みました。また、今まではNPO法人としての自覚が薄い部分がありましたが、スタッフ間で話し合いを行った結果、各自に明確な目標ができました。ハード面を強化することができたので、これからはハードをどう活用するか、ソフト面の強化に注力をしていきたいと思っております。

よこはま夢ファンドへのご寄附の方法

寄

附

金融機関での 納付書払い

下記①②のいずれかの方法で
お申し込みください。

①寄附申込書をホームページより
ダウンロードし、必要事項を記入の上、
市民局市民協働推進課までお送りください。
(郵送、e-mail、FAX等)

URL:

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/default2021080203.html>

②よこはま夢ファンド寄附申込フォームで
必要事項を直接入力し、送信してください。

URL:

<https://www.e-shinsei.city.yokohama.lg.jp/yokohama/uketsuke/df orm.do?acs=yokohamayumefund>



届いた「納付書」で近くの金融機関
窓口でお手続きしてください。

※「納付書」は申込後、1~2週間ほどで
お送りします。

クレジットカード払い マルチペイメント払い

(コンビニ決済、インターネットバンキング等)

ふるさとチョイスからお申し込みくださ
い。

URL:

<https://www.furusatotax.jp/city/product/14100>

ふるさとチョイス 横浜市

検索



ポータルサイト内より
お支払い方法を選択し、お支払いくださ
い。



横浜市から届く寄附金受領証明書をお
受け取りください。

税
の
控
除

ご自身で確定申告をする場合

寄附金受領証明書または納付書兼領
収書をもとに、税務署にて確定申告の
お手続きをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度 の適用をご希望の場合

横浜市あて寄附金額税額控除に係
る申告特例申請書を提出してくださ
い。

※ 詳しくは、市民局市民協働推進課「よこはま夢ファンド担当」までお問い合わせください。

TEL 045-671-4734 FAX 045-223-2032

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

令和3年9月発行

発行元:横浜市市民局市民協働推進課 よこはま夢ファンド担当